



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場会社名 昭和飛行機工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7404 URL <http://www.showa-aircraft.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田沼 千明
 問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務部長 (氏名) 木下 尚久 (TEL) 042-541-2111
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日 平成27年12月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	11,166	1.0	609	△28.1	553	△22.4	318	△32.3
27年3月期第2四半期	11,057	5.6	847	5.6	713	1.6	470	△42.6

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 1,320百万円(33.2%) 27年3月期第2四半期 991百万円(△42.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	9.76	—
27年3月期第2四半期	14.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	66,687	34,766	52.1
27年3月期	67,600	33,576	49.7

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 34,766百万円 27年3月期 33,576百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
28年3月期	—	4.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	△0.3	2,000	2.2	1,600	2.6	1,000	2.1	30.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	33,606,132株	27年3月期	33,606,132株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	990,500株	27年3月期	990,317株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	32,615,763株	27年3月期2Q	32,620,973株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高111億66百万円（前年同期比1.0%増）、営業利益6億9百万円（前年同期比28.1%減）、経常利益5億53百万円（前年同期比22.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億18百万円（前年同期比32.3%減）となりました。

セグメント毎の業績は、次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの利益又は損失の算定方法を変更しており、当第2四半期連結累計期間と前年同期との比較は、当該変更の影響を反映しております。

① 輸送用機器関連事業

給油車や防衛省向け車両機装は好調であったものの、シェルター製品やハニカムパネル等複合材製品の販売が伸びなかったことや、海外生産準備費用が発生したこと等により、売上高は41億48百万円と前年同期比1億38百万円、3.2%の増収、セグメント損益は2億21百万円の損失（前年同期1億2百万円の利益）となりました。

② 不動産賃貸事業

商業施設「モリパークアウトドアヴィレッジ」が好調に推移し、売上高は34億40百万円と前年同期比2億1百万円、6.2%の増収となりましたが、販売促進費用の増加等によりセグメント利益は9億33百万円と前年同期比40百万円、4.2%の減益となりました。

③ ホテル・スポーツ・レジャー事業

ホテル宿泊者数やテニスセンター利用者の増加等により、売上高は21億74百万円と前年同期比6百万円、0.3%の増収、セグメント利益は30百万円（前年同期84百万円の損失）となりました。

④ 物販事業

温浴事業環境の回復等により、売上高は12億16百万円と前年同期比24百万円、2.1%の増収、セグメント損益は1億2百万円の損失（前年同期1億17百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、設備関連の支払い等で現金及び預金が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べて18億10百万円、12.4%減少し、127億82百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産が減価償却により5億50百万円減少したものの、株式市況の上昇により投資有価証券が14億74百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べて8億97百万円、1.7%増加し、539億5百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて9億13百万円、1.4%減少し、666億87百万円となりました。

(負債)

流動負債は、設備関連の未払金の支払い等により、前連結会計年度末に比べて29億35百万円、26.1%減少し、83億2百万円となりました。

固定負債は、長期借入金が増加したことや、投資有価証券の時価上昇にともない繰延税金負債が4億14百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べて8億32百万円、3.7%増加し、236億18百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて21億2百万円、6.2%減少し、319億21百万円となりました。

(純資産)

純資産は、四半期純利益の計上等により利益剰余金が増加したことや、投資有価証券の時価上昇にともないその他有価証券評価差額金が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べて11億89百万円、3.5%増加し、347億66百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、51億18百万円と前連結会計年度末に比べ13億60百万円減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動による資金収支は、たな卸資産の増加による支出が3億69百万円ありましたが、税金等調整前四半期純利益が5億31百万円あったことや、減価償却費の計上による収入が10億71百万円、売上債権の減少による収入が7億81百万円あったことなどにより、10億95百万円の資金収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金収支は、有形固定資産の取得による支出が28億45百万円あったことなどにより、28億84百万円の資金支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金収支は、長期借入金の返済による支出が12億10百万円、配当金の支払額が1億30百万円あった一方で、長期借入れによる収入が18億円あったことなどにより、4億24百万円の資金収入となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現段階では平成27年4月23日発表時の通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更い
たしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定
による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方
法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更
を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、
四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会
社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載
し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売
却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方
法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び
事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点
から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,685	3,674
関係会社預け金	—	1,660
受取手形及び売掛金	4,907	4,126
商品及び製品	542	607
仕掛品	993	1,198
原材料及び貯蔵品	789	888
繰延税金資産	211	171
その他	468	457
貸倒引当金	△5	△3
流動資産合計	14,592	12,782
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	26,672	26,109
機械装置及び運搬具（純額）	1,312	1,487
工具、器具及び備品（純額）	378	377
土地	12,236	12,264
その他（純額）	505	316
有形固定資産合計	41,106	40,556
無形固定資産		
のれん	15	—
その他	81	84
無形固定資産合計	97	84
投資その他の資産		
投資有価証券	10,852	12,327
繰延税金資産	51	50
その他	1,024	1,006
貸倒引当金	△123	△120
投資その他の資産合計	11,804	13,264
固定資産合計	53,008	53,905
資産合計	67,600	66,687

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,475	1,365
短期借入金	500	500
1年内返済予定の長期借入金	3,010	3,080
未払法人税等	457	256
未払消費税等	140	180
賞与引当金	422	351
工事損失引当金	51	55
その他の引当金	6	7
その他	5,174	2,506
流動負債合計	11,238	8,302
固定負債		
長期借入金	8,840	9,360
受入敷金保証金	4,772	4,581
繰延税金負債	3,067	3,482
退職給付に係る負債	5,372	5,395
役員退職慰労引当金	419	473
その他	313	326
固定負債合計	22,785	23,618
負債合計	34,023	31,921
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,949	4,949
資本剰余金	8,977	8,977
利益剰余金	14,262	14,450
自己株式	△377	△377
株主資本合計	27,813	28,000
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,749	6,747
為替換算調整勘定	14	17
その他の包括利益累計額合計	5,763	6,765
純資産合計	33,576	34,766
負債純資産合計	67,600	66,687

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	11,057	11,166
売上原価	8,082	8,366
売上総利益	2,974	2,800
販売費及び一般管理費	2,127	2,191
営業利益	847	609
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	64	102
その他	18	32
営業外収益合計	83	136
営業外費用		
支払利息	86	78
遊休施設管理費	32	43
地域再開発費用	21	40
その他	76	29
営業外費用合計	217	192
経常利益	713	553
特別利益		
固定資産売却益	2	—
地上権設定益	13	—
親会社株式売却益	233	—
特別利益合計	249	—
特別損失		
固定資産除売却損	126	21
その他	0	0
特別損失合計	127	22
税金等調整前四半期純利益	835	531
法人税、住民税及び事業税	290	233
法人税等調整額	74	△20
法人税等合計	364	213
四半期純利益	470	318
親会社株主に帰属する四半期純利益	470	318

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	470	318
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	520	998
為替換算調整勘定	—	3
その他の包括利益合計	520	1,002
四半期包括利益	991	1,320
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	991	1,320
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	835	531
減価償却費	983	1,071
その他の償却額	61	66
固定資産除売却損益(△は益)	110	21
親会社株式売却損益(△は益)	△233	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5	△6
受取利息及び受取配当金	△65	△103
支払利息	86	78
売上債権の増減額(△は増加)	358	781
たな卸資産の増減額(△は増加)	△650	△369
仕入債務の増減額(△は減少)	△35	△109
未払消費税等の増減額(△は減少)	20	39
その他	△337	△493
小計	1,128	1,508
利息及び配当金の受取額	65	103
利息の支払額	△87	△78
法人税等の支払額	△275	△437
営業活動によるキャッシュ・フロー	830	1,095
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,545	△2,845
有形固定資産の売却による収入	16	—
親会社株式の売却による収入	429	—
投資有価証券の取得による支出	—	△0
定期預金の預入による支出	△166	△176
定期預金の払戻による収入	166	166
その他	△100	△27
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,199	△2,884
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	500	500
短期借入金の返済による支出	△1,000	△500
長期借入れによる収入	2,000	1,800
長期借入金の返済による支出	△3,383	△1,210
自己株式の取得による支出	△5	△0
配当金の支払額	△130	△130
その他	△35	△34
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,054	424
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,420	△1,360
現金及び現金同等物の期首残高	8,202	6,479
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,782	5,118

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	輸送用機器 関連事業	機関連事 業	不動産賃 貸事業	ホテル・ス ポーツ・レ ジャー事業	物販事業				
売上高									
外部顧客への 売上高	4,286	3,238	2,168	1,192	10,886	171	11,057	—	11,057
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	138	78	6	0	224	129	353	△353	—
計	4,425	3,317	2,174	1,193	11,110	300	11,410	△353	11,057
セグメント利益 又は損失(△)	102	974	△84	△117	875	△28	847	—	847

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業及び福祉介護事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	輸送用機 器関連業	不動産賃 貸事業	ホテル・ スポーツ・レ ジャー事業	物販事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	4,148	3,440	2,174	1,216	10,980	185	11,166	—	11,166
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	120	67	6	5	200	117	318	△318	—
計	4,268	3,508	2,181	1,222	11,181	303	11,485	△318	11,166
セグメント利益 又は損失(△)	△221	933	30	△102	640	△30	609	—	609

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業及び福祉介護事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、社内の管理体制の変更に対応して報告セグメント別の経営成績をより実態に反映させるため、全社共通営業費用の各セグメントへの配賦について、関連が明確な費用については各セグメントに賦課し、それ以外の費用については売上高比率を基準とした配賦方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益又は損失の算定方法により作成しております。